

令和3年度酒田市交通安全対策会議議事録（概要）

（敬称略）

会議の名称	酒田市交通安全対策会議
開催日時	令和4年1月5日（水） 午後1時30分～3時00分
開催場所	酒田市役所7階703会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>【委員】</p> <p>酒田市長 丸山 至【会長】</p> <p>国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所 工事品質管理官 宍戸 英雄</p> <p>国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所酒田国道維持出張所 所長 小坂 茂</p> <p>山形県庄内総合支庁総務企画部 防災安全室長 長谷川 慎一</p> <p>酒田警察署交通課長 大貫 和也</p> <p>酒田市企画部長 宮崎 和幸</p> <p>酒田市健康福祉部長 白畑 真由美</p> <p>酒田市建設部長 藤井 昌道</p> <p>酒田市教育委員会教育次長 池田 里枝</p> <p>酒田地区広域行政組合消防長 日下部 進</p> <p>酒田市市民部長 大谷 謙治</p> <p>【特別委員】</p> <p>東日本高速道路(株)東北支社鶴岡管理事務所 管理担当課長 郷古 章</p> <p>【参与】</p> <p>酒田地区交通安全協会会長 高橋 禮次郎</p> <p>酒田市交通指導員会会長 本間 八四男</p> <p>酒田市自治会連合会交通部長 池田 貢</p> <p>酒田飽海PTA連合会副会長 小澤 真人</p> <p>飽海地区高等学校交通安全指導協議会会長 藤田 雅彦 (事務局)</p> <p>酒田市まちづくり推進課長 長尾 和浩</p> <p>酒田市まちづくり推進課課長補佐兼市民相談室長 五十嵐 國敬</p> <p>酒田市まちづくり推進課市民相談室 主査 斎藤 由加</p> <p>酒田市まちづくり推進課市民相談室 主事 渡部 雄太</p>
欠席者氏名 （敬称略）	<p>【委員】 山形県庄内総合支庁建設部長 佐藤 康一</p> <p>【特別委員】 東日本旅客鉄道(株)酒田保線技術センター 所長 本田 稔</p> <p>【参与】 酒田商工会議所</p>

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 第11次酒田市交通安全計画（案） ・資料2 交通事故発生状況 ・資料3 第11次交通安全計画比較表 ・資料4 第11次酒田市交通安全計画（案）の概要 ・資料5 第10次・第11次酒田市交通安全計画対照表 ・資料6 令和3年度酒田市交通安全実施計画（案）
協議題等	<p>【審議事項】</p> <p>(1) 第11次酒田市交通安全計画（案）について</p> <p>(2) 令和3年度酒田市交通安全実施計画（案）について</p> <p>【その他】</p>
会議の要旨	以下のとおり
<p>【進行】事務局（まちづくり推進課長補佐兼市民相談室長）</p> <p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>今年度から、酒田市交通安全対策会議の委員、特別委員、参与としてご審議いただき皆様に交付いたします。この度はコロナ感染症拡大防止対策のため、該当する皆様の自席に置かせていただきました。よろしくお願いいたします。</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>ご臨席をいただいております、関係団体の皆様方には、日頃から交通安全活動の推進につきまして、それぞれの部署、立場で、お力添えをいただいておりますことを改めて感謝を申し上げます。</p> <p>最近の交通事故の発生状況を見ますと、この後、酒田警察署様からご説明をいただくようですが、特に痛ましい事故だと思ったのが昨年6月千葉県八街市で起きた、下校中の小学生の列に飲酒運転の車が突っ込み、5人の児童が死傷をしたという大変痛ましい事故が記憶に残っております。この事故後、国では、通学路等における安全確保と、飲酒運転の根絶、この二つを柱とした緊急対策を決定したところでございます。また過去にも、滋賀県大津市で起きた園児を巻き込んだ交通事故ですとか、池袋での高齢ドライバーの暴走事故ですとか、一向にそういう悲惨な事故が後を絶たないというのが、昨今の状況ではないかという思いを持っております。</p> <p>今日は、そういった中で、令和3年度から令和7年度までの5年間の本市の交通安全の方針を定めます第11次交通安全計画と、令和3年度の酒田市交通安全実施計画について、皆様からご審議をいただくということで開催させていただきました。この交通安全計画、それから交通安全実施計画は、国や県で策定しております計画を踏まえて、すべての交通について、高齢者や子ども達などの弱い立場にある方々への安全を確保して、地域ぐるみで安全安心なまちづくりを構築していこうという、人優先の交</p>	

通安全思想を基本とするものです。令和3年度から令和7年度までの5か年の交通安全計画というと、そういった意味では、もうスタートしているわけですし、令和3年度の交通安全実施計画というのも、年度の暮れに差しかかっているわけですが、県の計画の策定を受けた後に策定という道筋からこの時期になってしまったということでご理解いただき、追認という形の部分もございます。皆様からご審議をいただきたいと思ひます。

悲惨な交通事故の根絶に向けまして、関係機関・団体の皆さんと連携をさらに強化をして、家庭、学校、職場、地域と一体となった取り組みを、この計画をベースにして力強く進めて参りたいと思っております。

4 最近の管内交通情勢について（酒田警察署 大貫和也交通課長）

皆様には平素から、警察活動に対しましてご支援ご協力をいただいておりますことに、この場をお借りして感謝申し上げます。

私から最近の交通事故の発生状況等についてご説明申し上げます。令和3年の12月31日現在の事故発生状況、現在のところの概数ですが、12月末現在で、山形県内酒田警察署管内ともに、人がけがをした事故、人身交通事故の発生件数と負傷者数、総死者数については、令和2年に比べて、すべて減少という結果、酒田市についても、すべて前年比でマイナスという結果になっております。この酒田市の交通事故発生件数ですが、これは高速道路上でのものも含めております。高速道路上ですと、警察の高速道路交通警察隊というところの事故の扱いになりまして、厳密な酒田警察署管内の事故という扱いになっておりませんので若干数字にずれが生じてきます。その点、ご理解いただければと思ひます。昨年の死者数については、山形県内で、前年比マイナス6名の24名で、統計を取り始めて最も少ない記録的な少ない結果となりました。酒田警察署管内でも、これまで最低を記録していた平成22年の死者数2名を更新し、年間死者数1名という結果でした。これはコロナ渦という、厳しい状況下にもかかわらず、交通関係団体の皆様が、これまで継続してきた学識ある活動を地道に展開していただいた結果であり、改めて感謝申し上げます。

続きまして、昨年の当署管内の事故の特徴を説明したいと思ひます。特徴としては、大きく四つ挙げられます。①交差点や交差点付近で発生した人身事故は、前年比で約22%ほど増加。最も多いのが、出会い頭、次いで追突事故、その次に多いのが右折時。衝突形態別にすべての事故件数を見ると、やはり追突事故が最も多い事故形態になりますが、酒田警察署管内では、交差点、交差点付近については、追突事故より出会い頭事故の方が非常に多い、という結果になっております。②高齢ドライバーが事故の主たる原因者になる事故が、これも前年比で15%ほど増加。高齢ドライバーが原因となる事故においても、最も多いのが出会い頭事故、次いで追突と、やはり出会い頭事故が多い傾向となっています。③児童や生徒が被害に遭う事故が前年比で39%ほど増加。この事故の内訳を見ると、車に同乗中のけがが一番多く、次が自転車乗車中、その次に歩行中になっています。なお自転車乗車中の事故については、中学生、高校生

が被害にあっている事故が特に多くあります。④信号無視や歩行者妨害など、重大事故に繋がる交通違反に係る事故が増加という傾向にありました。信号無視のほとんどは、あえて無視をする人はいませんで、信号見落としが多く、歩行者妨害についても、横断歩道での歩行者の未発見や発見の遅れが原因で、特に重大事故に繋がりやすい事故の原因となっております。

このように事故そのものは、年々減少をしているという状況にありますが、出会い頭事故や横断歩行者の事故、ひとたび事故が起これば重大事故に直結しやすい形態の事故は、前年よりも、かえって多くなっているというような結果となりました。こういった結果を踏まえまして、酒田警察署では、昨年引き続き本年も、高齢運転者対策、歩行者保護対策、通学路の安全対策、交差点事故の防止対策を重点に活動を推進して参りたいと考えております。

5 審議事項

(1) 第 11 次酒田市交通安全計画案について

【事務局説明】(まちづくり推進課長) ※第 11 次酒田市交通安全計画案説明

【議長】(会長：酒田市長)

事務局から、概要と各章の中身について抜粋して説明がありましたが、ただいまの説明に対しまして、委員の皆様から何か、ご質問ご意見等がございましたら、お願いをしたいと思います。

あまり前の計画と変わったところはないようで、手直しをするようなところはないのかなと見ておりましたが、この5年間、過去5年間と、環境として大きく変わったもの、皆様、何か肌で感じるものがあれば、そういった中身もどこかに触れられていればいいのかと思って聞いてみたところですが、何か、ございますでしょうか。特にございませんでしょうか。

それではないようですので、皆様にお諮りをしたいと思います。この第 11 次の酒田市交通安全計画案について、皆さんご承認いただくということでご異議ございませんでしょうか。

【各委員】異議なし

【議長】(会長：酒田市長)

よろしいですか。はい。異議がないようですので、それでは、第 11 次酒田市交通安全計画案は、承認、ということで決しました。ありがとうございました。

(2) 令和 3 年度酒田市交通安全実施計画案について

【事務局説明】(まちづくり推進課長) ※令和 3 年度酒田市交通安全実施計画案説明

【議長】（会長：酒田市長）

それでは、ただいま、説明いただきましたが何かございましたら。はい、どうぞ。
東日本高速道路㈱様。よろしくお願ひいたします。

【特別委員】 東日本高速道路㈱東北支社鶴岡管理事務所

（代理出席）管理担当課長 郷古章

15 ページ目でございます。第 6 の柱の、交通死亡事故等重大事故発生に伴う緊急現場点検の実施機関のところに、弊社の東日本高速道路㈱の記載を追記していただければと存じます。皆様のご協力のおかげによりまして、幸いにして、この庄内地域で、こういった重大事故、死亡事故、多重衝突事故などは起きておりませんが、高速道路等で重大事故、死亡事故、多重事故等が発生すれば、当然、例えば道路の設計ですとか、周りの道路構造物、そういうものを緊急点検して、再発防止策を実施しているところでございますので、ここの実施機関のところに、当然高速隊さんの方との連携にはなりますが、弊社の東日本高速道路㈱を追記していただければと思っております。

それからもう一点、逆走事故ということで、高齢者の方の逆走が非常に多いところがありまして、資料 1 に戻りますが、16 ページの (5) 高速道路における事故防止対策の推進の下方のところに、逆走防止の表現が記載されております。現にこの庄内地域の高速道路、庄内空港インターチェンジ、庄内あさひインターチェンジで、ここは料金所がない一時停止で平面交差しているインターチェンジですが、重大事故には至りませんでした。逆走事案は現に発生しております。その際に、逆走車を検知した場合にランプとライト、それから電光掲示板で逆走車にお知らせするという装置を二つのインターチェンジに配置して整備しております。

従って、事故には至っていないがそういったリスクのある箇所ということで一つの現場点検を踏まえた結果、逆走対策設置をしたという経緯もございますので、実施計画の第 6 の柱の重大事故発生時等の緊急現場点検というところに、弊社の記載の方を追記していただけたらというふう存じます。

【議長】（会長：酒田市長）

はい。ありがとうございました。これはそうですね。大丈夫ですよね。

【事務局説明】（まちづくり推進課長）

はい。今のご意見を踏まえまして、追記させていただきたいと思っております。ありがとうございました。

【議長】（会長：酒田市長）

ありがとうございました。

はい。その他、何かございませんか。

【委員】（酒田地区広域行政組合 消防長 日下部 進）

はい。資料の数値的な件ですけど。13 ページです。貼り付けしたような資料みたいなんですが、本救急隊員数、令和3年4月1日現在ということで記載になっておりますが、そこに消防職員数が212人とあるんですが、消防職員数という表現になると、4月1日現在で219名になるんです。ですからこの資料自体、どこから入手したのかわからないのですが、217、212と、もしかしたらの再任用職員を除いた数みたいな感じもしますが、再任用でもフルタイムであれば職員としてカウントされますので、そこはちょっと確認して、修正が必要であれば修正していただきたいなと思います。お願いします。

【事務局説明】（まちづくり推進課長）

はい。そちらについては確認をさせていただければと思っております。

一点、消防長もいらっしゃるということなので、今、少しコロナの状況で救助救援、救急対応ということで、気をつけなければいけないようなことだとか、心肺蘇生をこういうふうにやるとか、少し対応で気をつけなければいけない部分がありましたら、ご紹介いただければなと思っております、お願いできますでしょうか。

【議長】（会長：酒田市長）

はい。ありがとうございます。どうですか。

【委員】（酒田地区広域行政組合 消防長 日下部 進）

コロナの疑いを踏まえた蘇生ということですか。そういう対応ということですかね。実は、そういう対策は私たち職員は、今はこういう状況ですので、発熱とかがあれば、完全に防護服を着用して、防御、装備を完全にした状態で、今だとコロナ患者だという前提で、感染しないような体制でやっていますが、一般の人、いわゆる、ここでいうバイスタンダーの人が、いわゆる交通事故現場にいて、コロナを疑った上での装備をした上での対応というようなことはできませんので、そこはですね、例えばどういうふうにしたらいいでしょうかということも聞かれても、コロナの疑いを持って、感染防止を行った上で、救護措置してくださいというふうなことは、指導はしてない状況です。

【事務局説明】（まちづくり推進課長）

この計画をつくる時に、やはりコロナという部分をどの程度盛り込めるといいのかなということでもあまりその点については、実際に触れてはいないところではあったんですが、例えば、人工呼吸などはちょっとやっぱりできないだろうし、そういったところは難しいだろうというようなことを考えながら文章を考えたところです。

【委員】（酒田地区広域行政組合 消防長 日下部 進）

ちょっと参考的な情報ですが、コロナウイルス感染症が出る前、1年2年ぐらい前か

ら始まったんですが、消防の全国消防長会で、バイスタンダー保険というのが出まして、それは、いわゆる交通事故とか通りかかった人が、救命措置のために、その患者の血液とか、その体に触れた結果、感染症で感染した場合、感染する疑いがある場合に、感染したかどうかの検査を保険で対応するというふうな制度ができて、酒田消防でもそこに入っています。ですからバイスタンダーで救急隊が行って、そういう救命措置をしてくれた方には、その案内のチラシを配布し、心配がある方は申し出て、検査してください、検査費用は県で出しますよというふうなことは、啓発としてやっている状況です。ですから、多分、コロナについても、疑いがあるというふうなことであれば、その保険の中で対応ができるものだというふうに、認識しております。

【議長】（会長：酒田市長）

これは、令和3年度の実施計画なので、本当に、コロナ過真っ最中の中の計画なものですから、どこかにそのコロナが本文に出てくるんでしたでしょうか。コロナという言葉が全く出てきてないみたいですけど。ないんですね。

【事務局説明】（まちづくり推進課長）

それは内部でも協議しましたが、一応、計画そのものは5年間の計画ということもありますし、あとそれを受けてのまず実施計画ということもございましたので、そこは、あまり触れないでいこうと、今回は触れないで作ろうということで、向かったところでございます。

【議長】（会長：酒田市長）

その交通安全計画とか、交通安全実施計画にそのコロナっていうことが影響を及ぼさないのかどうかっていうところは、ちょっと何とも言いがたいところもありますが、環境的には、実はすごく変わったというか、大きな影響を与える環境の変化なんだろうなあと思いますからね、どこかに一文、あっても、おかしくはないかなと。令和3年度以降に対しては、かなりの影響を与えかねない要因の一つではあるんじゃないかなあって感じはするんですけど。

【事務局説明】（まちづくり推進課長）

それでは、令和3年度の実施計画の中に、コロナについても少し触れさせていただきたいと思います。

【議長】（会長：酒田市長）

はい。そのほうがいいですね。

【事務局説明】（まちづくり推進課長）

具体的にこうするというよりは、コロナが大変な状況で、ちょっと、状況を説明す

るような、文章を付け加えさせていただければと思います。

【議長】（会長：酒田市長）

救助救急業務あたりのところには載せやすい項目ではあるかな、内容ではあるかなという感じで聞いておりましたが、あとは、少し事務局の方で知恵を出していただければなと思います。はい。それでは他に何かございますでしょうか。はい。どうぞ。

【参与】（酒田飽海 PTA 連合会 副会長 小澤真人）

はい。資料 1 ページですね。小学生に対する交通安全教育の推進の中の③交通安全指導がありますけども、現状、学区内の危険マップ、昨年もご存じの通り通学路の安全点検等の指示が出たかと思うんですが、現状、学校に対して、この学区内の危険マップの取り組み状況というか、今、どういった指示が出てるのかというのを、もしわかれば教えていただきたいのですが。

【議長】（会長：酒田市長）

教育次長。わかりますか。では、教育次長。

【委員】（酒田市教育委員会 教育次長 池田里枝）

先の議会でも、こういったご質問を頂戴したんですが、学校においては、春先に一斉点検ということで、すべての小中学校に対して、どこが危険かと、そういったことを点検するというお願いをしております。その中で、きちんとマップにして、視覚化、分かる化しているというのは、全部ではございません。ただ先ほど市長からもありました八街市の事故とか、それ以前の大津市の事故などを受けて、やはり、点検する箇所、かなり見方が増えたという点もありますので、その都度その都度、そのアップデートといったことはしているということをお聞きしています。

【議長】（会長：酒田市長）

よろしいでしょうか。

【参与】（酒田飽海 PTA 連合会 副会長 小澤真人）

はい。ありがとうございます。私は、宮野浦学区の宮野浦小学校の PTA 会長もしております、一昨年、通学路に新たに横断歩道を設置していただいたという事例もあります。酒田市さん、また警察署の方々からのご協力で新しくつけてもらうことができましたので、この場をお借りして、御礼申し上げます。ありがとうございます。

【議長】（会長：酒田市長）

はい。他にございませんか。はい。それではないようですので、今いくつかご意見がございました。それを追記していただく、あるいは、若干中身を修正していただくこと

になりますけれども、そういった前提で、令和3年度の酒田市交通安全実施計画、この案につきましても、交通安全対策会議として、皆さんのご承認をいただくということでご異議ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

【各委員】異議なし。

【議長（酒田市長）】

はい。ありがとうございます。ご異議がないようですので、令和3年度酒田市交通安全実施計画案は承認をされました。ありがとうございました。

予定された、二つの項目については、いずれも承認ということで決したところでございます。

ほかに何かありませんか。はい。なければ、事務局の方から何か準備したものがございますか。

【事務局説明】（まちづくり推進課長）

計画についての今後の進め方について説明させていただきます。

ご承認いただいた第11次酒田市交通安全計画（案）を1月7日から26日まで、パブリックコメント、意見公募の手続きを行う予定です。大きく変更を伴う可能性がありご意見を頂戴した場合には、改めて会議開催のご案内を差し上げますが、基本的に、そうでなければ、寄せられた意見についてまとめ反映させた結果を報告する形で、最終案を皆様に送付させていただきたいと考えております。

【議長】（会長：酒田市長）

はい。わかりました。パブリックコメントをもらって、大きな手直しがなければ、その段階で、決定となって、製本は皆さんに送付するということですね。はい、わかりました。という説明でございますのでご了解をいただきたいと思います。

それでは本日の審議事項、すべて終了いたしました。委員の皆様のご協力心から感謝申し上げます。ありがとうございました。では司会の方にお返しいたします。

6 その他

7 閉会